

# 「任命拒否」変えず

## 首相、学術会議会長と会談

岸田文雄首相は13日、首相官邸で日本学術会議の梶田隆章会長と面会しました。菅義偉前首相が同会議の会員候補6人の任命を拒否したことに関し、首相は「当時の首相が最終判断したもので、一連の手続きは終了した」と承知している」と述

べ、同会議側が求める任命には応じない方針を伝えました。ただ、首相は梶田会長に対し、「今後対話を重ねることが重要だ。松野博一官房長官を担当者とし、今後について検討していきたい」と説明。面会後、梶田会長は記者団に

「これを基にどうするかをこれから考えていく。前向きに捉えたい」と語りました。

首相は記者団の取材に「政府と学術会議の建設的な関係を築きたい」と強調。

「任命に関する事柄は松野氏に、組織や運営の在り方については小林鷹之科学技術担当相が引き続き担当する」と説明しました。

岸田首相と梶田会長の会談は初めて。任命

拒否問題を受け、学術会議は昨年12月、首相に対し梶田会長との面談を求める要望書をまとめていました。